

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

人権のひろば

問 こども家庭センター
(TEL) 354-8298 (FAX) 354-8061)

児童虐待のない社会を目指して

オレンジリボン運動を知っていますか。この運動は、児童虐待のない社会の実現を目指す市民運動です。

平成16年に栃木県で幼い兄弟が虐待によって命を落とす痛ましい事件が起こりました。この事件をきっかけに、「カンガルーOYAMA」という団体が、二度とこのような事件が起らないようにと願い、児童虐待防止を目指してオレンジリボン運動を始め、全国に広がりました。

シンボルマークであるリボンのオレンジ色は、こどもたちの明るい未来を表しています。



オレンジリボンを胸につけることで、「保護者だけでなく、社会全体でこどもを育む」という理念を基に子育てを温かく見守り、子育てを手助けする意思を示します。

また、児童虐待の防止等に関する法律で私たちの義務として規定される児童虐待通告もオレンジリボン運動と同様、「社会全体でこどもを育む」という理念に基づいています。「虐待かも」と感じたときには、迷わず児童相談所虐待対応ダイヤル「189」にお電話いただくな、こども家庭センターへお知らせください。



あけましておめでとうございます

昨年末は、四日市港に最新の大型客船飛鳥Ⅲが寄港したり、中心市街地で円形デッキ「よんまるテラス」の供用を開始したりするなど、明るい話題がありました。一方で、9月の大霖に伴う災害を受け、改めて、災害に強いまちをつくる取り組みを進めています。

さて、今年は、2月1日に中心市街地や開放的な海の景色を楽しめる「第1回 四日市みなとランフェスティバル」を開催します。北勢地域唯一のロードレースで、3,000人を超える申し込みがあり、今から開催がとても楽しみです。

また、中央通り再編事業は、円形デッキと



四日市港に初寄港した、朝日を浴びる飛鳥Ⅲ

近鉄四日市駅をつなぐ直線デッキの工事が進んでいます。6月には、直線デッキが完成し、あすなろう四日市駅までがシームレスにつながります。

そして、こどもたちが、優れた文化芸術やスポーツに触れることができる「こどもみらいクーポン」がいよいよ動き出します。全国でも例がない、本市独自の取り組みで、多様な体験を通じてこどもたちの成長につながる仕組みとしたいと考えています。

今年も、新しい事業へ果敢に挑戦するとともに、これまで進めてきた事業が実を結ぶよう、全力で市政に取り組んでまいります。